

H28年度
教育サックス賞 受賞者

No	表彰者名/団体名	個人、団体の別	受賞理由	内申校/園
1	タカハシ ネネ 高橋 音々 (小学1年生)	個人	全日本書芸文化院主催「全国書道コンクール」小学生「毛筆」の部で最優秀大賞(全国で第1位に相当) (後援:文化庁、東京都)	見附小
2	オオクボ ハヤテ 大久保 颯 (小学5年生)	個人	新潟県統計グラフコンクールにて、平成27年度は新潟県統計協会総裁賞、平成28年度は県知事賞を受賞。	名木野小
3	クリバヤシ マサトシ 栗林 将寿 (小学3年生)	個人	「書き方の部」優秀賞 題1席に入賞(全国で第2位に相当)国立新美術館(東京)で表彰され(12月11日)、同美術館に展示された。(12月8日~19日)	田井小
4	ユウキ タダヒサ 結城 忠久	個人	田井小スクールガードに約10年前に自ら進んで所属。10年以上にわたり、田井小学校児童の安全安心を守る為に、スクールガードとして田井小児童・地域の防犯、事故防止に貢献した。毎日、低学年の下校時刻になると、田井小学校に来校し、椿沢町、田井町の1、2年生と一緒に下校。子どもたちの安全確保をすると共に、子どもたちに安全指導をしたり、声かけをしたりしながら、子どもたちや地域の安全に寄与した。	田井小
5	イノウエ ヤスナリ 井上 靖也	個人	田井小スクールガードに約10年前に自ら進んで所属。10年以上にわたり、田井小学校児童の安全安心を守る為に、スクールガードとして田井小児童・地域の防犯、事故防止に貢献した。毎日、三ヶ字地区の登校班に付き添い、一緒に登校。子どもたちの安全確保をすると共に、子どもたちに安全指導をしたり、声かけをしたりしながら、子どもたちや地域の安全に寄与した。	田井小
6	サカイ シキ 坂井 四季 (小学6年生)	個人	全日本書芸文化院主催「全国書道コンクール」小学生「毛筆」の部で最優秀大賞(全国で第1位に相当)、「書き方」の部で優秀賞(全国で第3位に相当)を収めた。 (後援:文化庁、東京都)	葛小
7	トミカワ フサコ 富川 ふさ子	個人	上北谷小学校の教育活動の中核である循環型農園活動を支える「team上北:農援隊」のメンバーの一員として、平成24年度から現在まで5年間、学校田の田植え、稲刈り、脱穀、堆肥づくり、学校の畑における大豆蒔き等の教育活動に支援をいただいた。 また、「team上北:お花咲かせ隊」として、teamのメンバーと学校の前庭にある花壇の整備に取り組んでいただいている。季節毎に花壇に花を植えていただき、来校者の目を楽しませると共に、子どもたちの心を育む、情操教育の一助となっている。 農援隊・・・年間15時間 お花咲かせ隊・・・年間30時間 チームの定期的な活動の他に自主的に学校の花壇の草取りをしながら、登校してくる児童達に声掛けをし、見守りをしている。	上北谷小
8	サトウ ユウイチ ロー 佐藤 裕一朗 (中学1年生)	個人	11月6日に行われた「第42回世界選手権大会」小太刀7~8級の部で準優勝を収めた。 (主催:国際スポーツチャンバラ協会、日本スポーツチャンバラ協会)	見中
9	ムラヤマミ カ 村山 未華 (中学3年生)	個人	全日本書芸文化院主催「全国書道コンクール」で最優秀大賞を収めた。 (後援:文化庁、東京都)	見中

10	ミナガワ リンカ 源川 梨花 (中学3年生)	個人	全日本書芸文化院主催「全国書道コンクール」で書き方・ペン字の部最優秀大賞を収めた。 (後援:文化庁、東京都)	見中
11	コバヤシ ミユ 小林 美優 (中学1年生)	個人	全日本書芸文化院主催「全国書道コンクール」で優秀賞第一席と収めた。 (後援:文化庁、東京都)	見中
12	イワサカ シュウト 岩坂 柗人 (中学3年生)	個人	陸上競技に真摯に取り組み、全国大会出場を果たした。 また、県縦断駅伝第10区に出場し、見附市第2位に貢献した。 ○全日本中学校通信陸上競技大会新潟県大会 男子400m 優勝 ○新潟県総合体育大会 陸上競技大会 男子400m 第2位 男子800m 第3位 ○北信越総合体育大会 陸上競技大会 男子400m 第7位 ○第43回全日本中学校陸上競技選手権大会 男子400m 準決勝進出(全体13位) ○県縦断駅伝 第10区 出場	見中
13	アベ ダイチ 阿部 大地 (中学2年生)	個人	第18回ショパン国際ピアノコンクールinASIAで奨励賞を収め、アジア大会に出場する。	見中
14	サウ ノミ 佐藤 希美 (中学1年生)	個人	第44回われら海の子展(今年度より、全国中学生海の絵コンクールと統合)において、特別審査員の首相夫人にちなんだ「阿部昭恵賞」を受賞。全国10,468点の応募の中から、県内唯一の入賞。	今中
15	コッコさん	団体	平成19年8月の「ブックスタート」開始時より現在まで、毎月1回保健福祉センターにて4ヶ月健診時に一組ずつすべての乳児とその保護者に読み聞かせを行っている。こども課と図書館の共催事業であるブックスタートはこのサークルの活動無くしては実施ができない。あたたかな親子触れ合いを生む読み聞かせを推進している。 また、毎月1回 保育園・子育て支援センターへの読み聞かせ、小学校への読み聞かせを行っている。 その他にも、毎年図書館にて「読み聞かせスペシャル」、長期休暇時には学童保育への読み聞かせも行い、多岐にわたり積極的に子どもの読書推進に取り組んでいる。 会員の学習意欲が高く、読み聞かせと児童書の勉強会を毎月1回行い、県内で開催される子ども読書推進研修会にも積極的に参加し、読書に関する自己研鑽を怠らない。 その活動内容は、市内の新しい読み聞かせボランティアサークルの手本となっている。 長年継続して活動を行っているため、特に、乳幼児から小学生までそれぞれの対象に合った選書能力がすばらしい。また、乳幼児の保護者への働きかけは、子どもだけに留まらず読み聞かせを通じた地域の連携を築いている。	図書館